

株式会社 マツダスクリーン

大型サイズのスクリーン印刷（特殊印刷）に対応

海外発注可
企画力自信有
オンライン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応



クリーン環境での印刷空間

主な事業内容

スクリーン印刷、
印刷部材品の加工・組立

主な取引先(納入先)

素材メーカー、自動車部品メーカー、
医療器メーカーなど

主な製品

自動車内装部品、照明用器具部品、
アミューズメント用部品

業務内容
最先端分野の
ものづくりを印刷で支える

マツダスクリーンは、厚さ40mm、1550mm×2750mmの大型サイズのスクリーン印刷を準スクリーンルーム内で出来る国内有数の企業。スクリーン印刷を用いたラジオの銘板製造で創業し、ワープロやビデオカメラ、ゲーム機、液晶・プラズマTVなど、時代の変遷とともに最先端分野のものづくりを支えてきた。精密微細印刷だけでなく、厚膜インクを硬化させる立体的な印刷や、ちぢみ模様を作る特殊印刷など多様な印刷表現に対応している。用途に応じた乾燥炉ほか、カット設備など後工程設備が豊富なことも特徴で、自動車の内装素材や医療機器、建材など幅広い分野で活躍している。

強み
印刷対象物に相性が良い
インクを自社で開発

強みは蓄積したノウハウによる印刷の最適化。長年、最先端分野で試行錯誤の挑戦を続けてきた結果、印刷対象物に相性が良いインクを自社でブレンドして開発できる体制になった。乾燥設備も、バッチ式温風乾燥炉とUV乾燥炉、遠赤外線コンベヤ式乾燥炉の3種を

保有し、材質や形状によって最適な生産方式を検討して品質と効率を高めている。

ところが、松田好隆社長は「ビジネス環境は常に変化する」と語る。かつて、同社の成長の起爆剤となった液晶TV枠の印刷が中国へと移った苦い経験から、事業の柱を増やしておくことに余念がない。開発力とアイデアを生かした新事業を常に模索している。

規業
新事業
導光板の技術を生かし、
アクリルを照明に

現在、新事業で注力しているのは、B to Cと機能性印刷の分野だ。B to Cでは、靴下など子どもを持ち物にスクリーン印刷で名入れするサービスをECサイトで展開。一方、機能性印刷では、住友化学の子会社である住化アクリル販売（東京都中央区）と協業し、アクリルに様々な機能を付加することで、照明やプロジェクターの投影板、抗菌機能を持つ材料などに加工する事業を始めた。実は、この照明では、長年手がけてきた液晶導光板の印刷・製造技術が生かされている。安定的な面発光と斜めからの視認性の高さが特徴。標識やインテリアなど幅広い用途での活用が期待されている。

社長あいさつ



代表取締役
松田 好隆さん

より良い製品を提供するために新しい設備の導入を惜しまず、また確固たる生産体制を築き上げるなど、常に品質の向上に努めています。“スクリーン印刷の無限の可能性を追求する”という経営理念にもとづき、これからも常に挑戦し続ける所存です。

主な保有設備

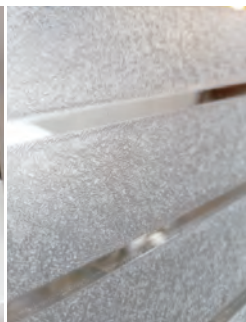
- 大型スクリーン印刷機 4台
- UV乾燥炉 2台
- 遠赤外線乾燥炉 2台
- ランニングソー 1台
- 端面加工機 1台



住 所 / 〒599-8102
堺市東区
石原町1-123-2
T E L / 072-258-0002
F A X / 072-258-1281
創 業 / 昭和49年3月
設 立 / 昭和56年4月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 30名



ちぢみ印刷と建材での使用例



ランニングソー（樹脂カット機）



<http://www.matsuda-screen.co.jp/>